

## 廃安定器の処理促進策（分離処理）について

### 1. 概要

北九州 PCB 処理事業所及び北海道 PCB 処理事業所では、廃安定器の処理促進策として、廃安定器を、PCB を含むコンデンサー内蔵部とそれ以外のトランス内蔵部とに分割し、

- ・コンデンサー内蔵部：プラズマ溶融分解処理
  - ・トランス内蔵部：プラズマ溶融分解以外の処理方法にて処理
- とすることでプラズマ処理量を削減する分離処理の検討を、技術部会の指導を頂きながら進めている。その検討状況についてここに報告する。

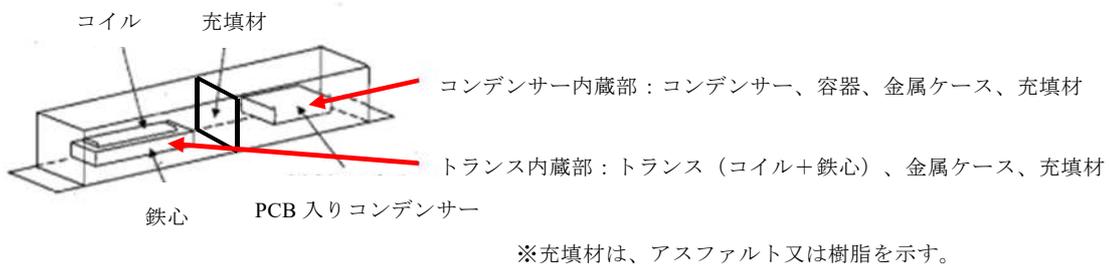


図-1 蛍光灯用安定器の概略構造(例)

### 2. 処理技術の内容

#### (1) 処理フロー

下図に廃安定器の処理フローの概略を示す。このことにより、概ね年間 400 t 程度のプラズマ処理量の削減効果を見込んでいる。

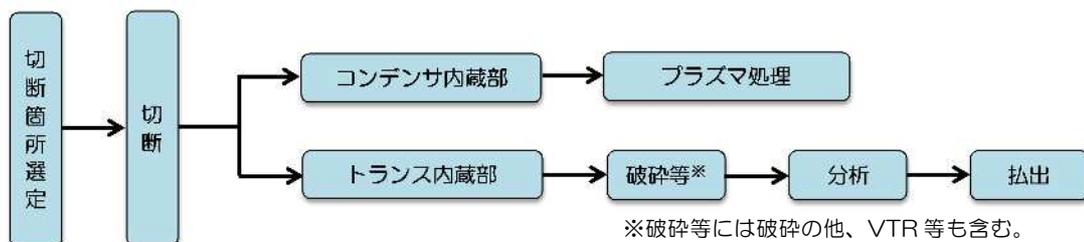


図-2 処理フローの概略

廃安定器の切断箇所選定には X 線装置、切断にはギロチンシャー、トランス内蔵部の破碎にはチェーン式破碎機を設置する。

#### (2) 主な環境対策

##### 1) 切断作業時の対策

切断時における高濃度 PCB を含むコンデンサーからの万一の漏洩に備えて特化則に準じた局所排気装置等を設置し、PCB を含む空気の拡散を防止する。

##### 2) トランス内蔵部破碎時の対策

トランス内蔵部の破碎時に発生する騒音と粉塵を最小化するため、装置

に囲いを設ける。

### (3) 分離安定器の溶融処理の確認

廃安定器分離処理を行うことにより、コンデンサー内蔵部のみを溶融分解するという従来には無かった処理を行うことになるため、コンデンサー内蔵部のみをプラズマ溶融分解処理した場合の溶融状況を確認した。

その結果、溶融処理を阻害させるような事象は発生せず、溶融処理を完了し、出滓や排ガスにも問題は無かった。

### (4) 今後のスケジュール(予定)

#### 1) 北九州 PCB 処理事業所

現在、機器を設置する床の補強工事を実施しており、令和2年度中に試運転を終了する予定である。

令和2年8月～令和2年12月	床補強工事
令和2年8月～令和3年3月	分離処理設備設置工事
令和2年度末頃	試運転終了

#### 2) 北海道 PCB 処理事業所

現在、切断・破砕等設備の製作を進めており、令和2年度中に試運転を終了する予定である。

令和2年4月～令和3年2月	前処理作業室改造工事
令和2年4月～令和3年3月	分離処理設備設置工事
令和2年度末頃	試運転終了